

参考



ポイント

- 高速バス運行便数が開通当時から大幅に増便
- 自動車を利用した静岡市への通勤・通学者は1970年に比べ約2倍に増加。また、静岡市以外への通勤・通学者も約2倍に増加

高速道路整備により人の移動が便利に

1964年1月に名神高速道路でスタートした高速バスは、高速性と快適性から高く評価され、東名高速道路の全線開通時に東京～名古屋・京都・大阪便という長距離路線が登場しました。それから50年、今でもその利便性や経済性から人気は衰えず、東京ディズニーリゾートをはじめとするレジャー施設へのアクセス路線や地域間を移動する路線など様々な形で利用されています。

東名高速道路が整備されたことにより、人の移動がより快適になり、生活が便利になっていったことがわかります。



国鉄ハイウェイバス開通時の様子

開通時写真/ジェイアールバス関東(株)提供

地域間アクセスの向上

高速バスの運行便数が大幅に拡大 市外への通勤圏の拡大が見られ、生活利便性が向上

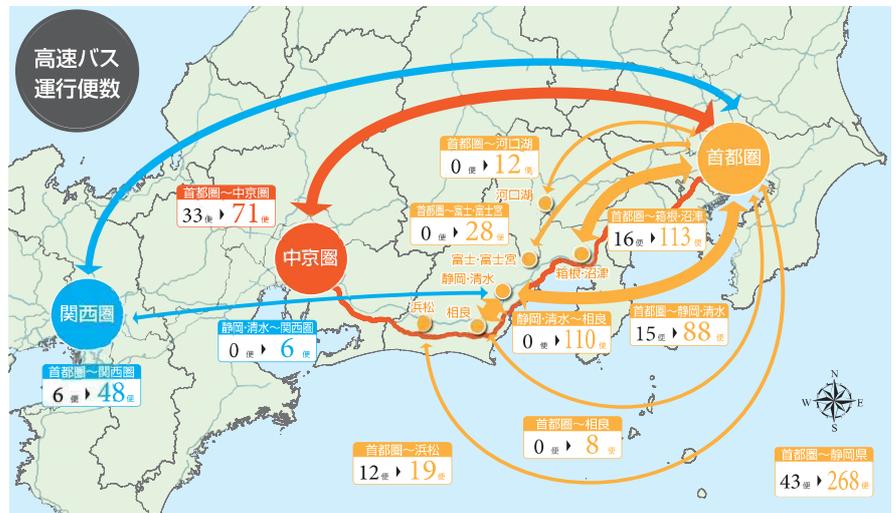
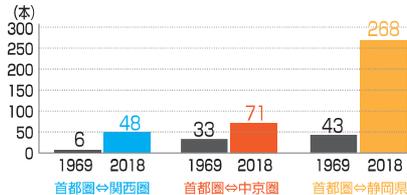
高速バスネットワーク (東名バス停に停車する系統)

東名高速道路を利用した高速バスは、多数の路線が運行されており、地域間の交流を支えています。

資料

国鉄監修 交通公社の時刻表1969年6月号(日本交通公社)
(国鉄東名ハイウェイバスを累計)
高速バス時刻表2018夏・秋号(交通新聞社)〔「東名阪エリア」に掲載されている路線のうち、東名高速道路の停留場もしくはSA/PAを利用している路線を累計〕

高速バス運行便数の推移



静岡市⇄市外の就業者・通学者数の変化 (自動車利用)

自動車を利用した静岡市への通勤・通学者は1970年に比べ約2倍に増加しています。また、静岡市以外の沿線への通勤・通学者も約2倍に増加しています。

資料

昭和45年、平成22年国勢調査(総務省)

流入



静岡市内へ

通勤・通学者数 (15歳以上)



流出



静岡市以外の沿線へ

通勤・通学者数 (15歳以上)

